

## スマートシティの実現に向けたニーズ提案書

様式2

提出年月日： 2020 年 3 月 9 日

地方公共団体名： 新潟県長岡市

## ○提案内容

## (1)実現したい都市のビジョン

長岡市では、長岡リジュネーション(長岡版総合戦略)において、「長岡版イノベーション」として、新たな技術の導入や開発等についての基本的な考え方を下記のとおり記載している。

- ①変化の波を的確にとらえ、従前にとられず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。
- ②大きな変化をチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に新たな発想や先端技術を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組む。

これらを踏まえ、都市機能集積を活かしたイノベーションまちづくりを推進していく中で、革新的技術を活かしたスマートで持続可能な都市づくりに取り組み、市民生活の向上や産業活性化の実現につなげることを目指していく。

そうしたまちづくりの考え方の一つとして、先端技術を活用しながら、様々な都市活動をつないで最適化する、スマートな都市づくりを推進する。

## (2)新技術の導入により解決したい都市の課題

※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>スマートで持続可能な都市づくりを目指す上で、基本となる現状分析及び事業効果等の把握手段の一つとして、中心市街地の歩行者通行量調査を行っている。これは、中心市街地活性化基本計画の目標指標の一つでもあり、これまでいわゆる人海戦術により複数の調査ポイントに調査員を配置し、目視によりカウントを行い集計してきた。</p> <p>しかしながら、天候等の外的要因などから、精度の確保のためには複数日の調査が必要であり、また近年は調査箇所数の増加や、計測を行う人員の確保が難しくなっているなど、調査費の高騰が懸念される状況となっており、従来手法による調査の継続が難しくなっている。</p>	(ア)、(オ)

**(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)**

**(2) 分析・予測技術**

AIによる画像認識技術の活用による、歩行者通行量カウント。

**(4) 解決の方向性(イメージでも可)**

調査ポイントに定点カメラを設置し歩行者等の通行状況を記録、カメラ映像からAIにより歩行者を抽出・解析し、通行量を自動カウントする。

短期的には、目視からAIによるカウントに切り替えることによる経費削減効果を見込む。

長期的には、現在特定日のみの計測となっている歩行者通行量調査日を拡大することで、イベント開催等がまちなかに及ぼす影響の調査や、通年での通行量変化を踏まえた施策の検討などが考えられる。

将来的には、複数の調査地点を連携させ、属性を踏まえた人流把握を行うことで、まちなかの交通政策や重点的に整備すべき施設等の検討、実効性の高い案内表示の実現など、都市活動の最適化に活かせる詳細な分析が行えるようなシステム構築を目指していきたい。

**(5) その他**

AIによる画像認識システムの開発には地元企業を活用し、実証実験を実施中。

技術確立の暁には、「長岡版イノベーション」モデルとして全国に向け普及させることで、地元産業の活性化にもつなげていく。

※先行してシステム導入を行いたい地域や、既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、(5)にご記入ください。

**○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)**

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
中心市街地整備室	鈴木 武明	0258-39-2807	shigaichi-seibi@city.nagaoka.lg.jp